



## 2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月13日

上場会社名 株式会社ビジョン 上場取引所 東  
 コード番号 9416 URL <https://www.vision-net.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長兼CEO (氏名)佐野 健一  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役常務執行役員管理本部長兼CFO (氏名)中本 新一 (TEL) 03-5325-0344  
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	3,938	△34.2	285	△41.4	313	△36.8	232	99.4
2020年12月期第1四半期	5,989	△7.4	488	△50.2	496	△49.4	116	△82.6

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 250百万円(103.2%) 2020年12月期第1四半期 123百万円(△81.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	4.93	4.80
2020年12月期第1四半期	2.44	2.37

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	11,560	9,008	77.9
2020年12月期	11,313	8,769	77.3

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 9,001百万円 2020年12月期 8,746百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2021年12月期	-	-	-	-	-
2021年12月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,148	△15.4	507	-	532	698.6	376	-	8.00
通期	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2021年12月期通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大における事業活動の影響を現段階で合理的に算出することが困難であるため、未定としております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無  
 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年12月期 1 Q	49,032,900株	2020年12月期	49,027,800株
2021年12月期 1 Q	1,948,044株	2020年12月期	1,948,044株
2021年12月期 1 Q	47,081,246株	2020年12月期 1 Q	47,653,554株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想など将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済環境は、国内外ともに新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあります。各国における感染拡大防止と経済維持活動の対策により持ち直しが期待されますが、先行きは不透明であります。

このような経済環境のもと、当社グループは、引き続き日本国内におけるグローバルW i F i 事業、情報通信サービス事業に注力してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大前のアウトバウンド、インバウンド需要の減退を埋めるには至らず、当第1四半期連結累計期間における売上高、営業利益、経常利益は前年同期実績を下回る結果となった一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前第1四半期連結会計期間に減損損失等を計上しておりましたので、前年同期を上回る結果となっております。

なお、当第1四半期連結会計期間の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益はいずれも、新型コロナウイルス感染症の影響が顕在化した前第2四半期連結会計期間以降、四半期において最高値となっております。

	当第1四半期連結累計期間 (百万円)	前年同期実績 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	3,938	5,989	△2,050	△34.2
営業利益	285	488	△202	△41.4
経常利益	313	496	△182	△36.8
親会社株主に帰属する四半期純利益	232	116	115	99.4

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

## (グローバルW i F i 事業)

従来から継続される政府による働き方改革の推進に加え、新型コロナウイルス感染症対策としてもテレワークやオンライン営業が広く浸透してきており、教育においても「G I G Aスクール構想」計画が前倒しで進められております。

当第1四半期連結累計期間においては、こうした需要の他、引越越し、入院、出張、各種イベント等の様々な通信ニーズに応えつつ、国内利用プランのオプションを設けた社内常備型モバイルW i - F i ルーター「グローバルW i F i f o r B i z」の拡販、利用促進に努めてまいりました。

コロナ禍前のアウトバウンド、インバウンド需要を享受できていた前年同期実績からは下回っておりますが、これらの取り組みにより、当第1四半期連結累計期間における売上高及びセグメント利益は新型コロナウイルス感染症の影響が顕在化した前第2四半期連結会計期間以降の四半期実績としては最高値となっております。

グローバルW i F i 事業	当第1四半期連結累計期間 (百万円)	前年同期実績 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	1,515	3,347	△1,832	△54.7
セグメント利益	117	326	△208	△63.9

## (情報通信サービス事業)

当事業においては、ウィズコロナ、アフターコロナ時代に対応し、かつ景気に左右されずに需要が見込める経費削減、業務効率改善、リモートワーク支援に貢献できるサービスを展開しております。

新設法人・ベンチャー企業をターゲットとした川上戦略と、企業の成長ステージに応じたアップセル・クロスセルを軸とし、ストックの増加と高効率な営業スタイルを図ることで安定性と収益性の向上に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間においては、コロナ禍におけるニーズに柔軟に対応し、テレワークのサポートにつながる移動体通信機器や月額制のクラウド型ワークフローサービス「VWS」、初期導入コストを抑えることができる月額制ホームページ制作サービス「V i s i o n C r a f t s ! (ビジョクラ)」の販売が好調でした。

しかしながら、将来収益の増加を見据えた月額制サービス拡販による売上の減少、一時的な電力取引価格高騰の影響による新電力取次業務の減収に加え、前年同期はコロナ禍前の需要を享受できていたこともあり、売上高、セグメント利益ともに前年同期実績を下回る結果となりました。

情報通信サービス事業	当第1四半期連 結累計期間 (百万円)	前年同期実績 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	2,357	2,515	△158	△6.3
セグメント利益	410	517	△107	△20.7

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、11,560百万円(前連結会計年度末比247百万円増)となりました。

流動資産は、9,163百万円(前連結会計年度末比291百万円増)となり、その主な要因は、受取手形及び売掛金が340百万円増加したことによるものです。

固定資産は、2,397百万円(前連結会計年度末比43百万円減)となり、その主な要因は、無形固定資産が28百万円増加した一方で、投資その他の資産が73百万円減少したことによるものです。

### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、2,552百万円(前連結会計年度末比8百万円増)となりました。

流動負債は、2,520百万円(前連結会計年度末比12百万円増)となり、その主な要因は、支払手形及び買掛金が92百万円増加した一方で、法人税の支払により未払法人税等が19百万円減少、賞与引当金が25百万円減少したことによるものです。

固定負債は、32百万円(前連結会計年度末比3百万円減)となっております。

### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、9,008百万円(前連結会計年度末比239百万円増)となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が232百万円増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期第2四半期連結業績予想につきましては、同第1四半期において新型コロナウイルス(COVID-19)感染症拡大による緊急事態宣言再発出(1月8日～)されるなか、各セグメントにおいて各企業及び店舗等のコロナ禍における需要(テレワーク、オンライン授業等の環境整備等)を的確に獲得することができ順調に推移いたしました。損益面につきましては、第1四半期の業績及び足元の状況を踏まえ、売上高及び営業利益以下の各利益共に前回予想を上回る見込みとなりました。

また、2021年12月期通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症(変異株を含む)の拡大、ワクチンの接種状況及びその効果、企業活動への影響は依然不透明な状況にあります。2021年12月期第2四半期連結業績予想に加え、2021年2月15日公表の業績予想の前提条件である「2021年12月期第4四半期より海外渡航者(アウトバウンド、インバウンド)が2019年同期間対比25%回復」の実現可能性、外部環境による収益影響を最小限にし、持続的な成長を実現させるための収益モデルの変更への取組み(ストック収益及び月額制自社サービスの強化)を踏まえ、当初想定していた事業環境と相違しております。そのため現時点では合理的な算出が困難となったため業績予想を取下げ未定といたしました。

今後、新型コロナウイルス感染症による事業環境への影響、持続的な成長を実現させる各種取り組み状況等を精査し、合理的な算出が可能になりましたら速やかに業績予想の公表をいたします。

詳細につきましては、本日(2021年5月13日)公表しました「第2四半期累計期間および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,650,318	6,637,634
受取手形及び売掛金	1,428,842	1,768,985
商品	125,303	123,454
貯蔵品	4,748	6,289
その他	724,808	694,336
貸倒引当金	△61,666	△67,231
流動資産合計	8,872,354	9,163,469
固定資産		
有形固定資産	342,989	345,024
無形固定資産	196,721	225,273
投資その他の資産		
その他	1,949,361	1,878,539
貸倒引当金	△48,393	△51,430
投資その他の資産合計	1,900,967	1,827,108
固定資産合計	2,440,679	2,397,406
資産合計	11,313,034	11,560,875
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	716,837	809,496
未払法人税等	55,918	36,797
賞与引当金	159,001	133,965
短期解約返戻引当金	49,271	52,185
その他	1,526,752	1,487,975
流動負債合計	2,507,781	2,520,420
固定負債		
その他	36,080	32,138
固定負債合計	36,080	32,138
負債合計	2,543,862	2,552,558
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,363,785	2,365,789
資本剰余金	2,396,243	2,398,248
利益剰余金	6,359,377	6,591,552
自己株式	△2,416,784	△2,416,784
株主資本合計	8,702,621	8,938,806
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,618	43,628
繰延ヘッジ損益	△721	—
為替換算調整勘定	△2,549	18,617
その他の包括利益累計額合計	44,347	62,246
新株予約権	21,344	6,379
非支配株主持分	859	884
純資産合計	8,769,171	9,008,316
負債純資産合計	11,313,034	11,560,875

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
売上高	5,989,071	3,938,868
売上原価	2,736,391	1,762,221
売上総利益	3,252,679	2,176,646
販売費及び一般管理費	2,764,582	1,890,707
営業利益	488,097	285,939
営業外収益		
受取利息	278	225
受取配当金	1,500	1,500
為替差益	7,145	16,042
助成金収入	—	8,156
その他	2,466	6,678
営業外収益合計	11,391	32,603
営業外費用		
支払利息	2,172	—
自己株式取得費用	767	—
支払手数料	—	3,014
その他	259	1,626
営業外費用合計	3,199	4,640
経常利益	496,289	313,901
特別利益		
新株予約権戻入益	—	14,940
特別利益合計	—	14,940
特別損失		
投資有価証券評価損	22,656	—
事務所移転費用	7,070	—
減損損失	185,928	—
特別損失合計	215,654	—
税金等調整前四半期純利益	280,634	328,842
法人税、住民税及び事業税	78,807	24,092
法人税等調整額	86,050	72,548
法人税等合計	164,857	96,641
四半期純利益	115,777	232,200
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△648	25
親会社株主に帰属する四半期純利益	116,425	232,175

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	115,777	232,200
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,820	△3,989
繰延ヘッジ損益	2,390	721
為替換算調整勘定	95	21,167
その他の包括利益合計	7,306	17,899
四半期包括利益	123,083	250,100
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	123,731	250,074
非支配株主に係る四半期包括利益	△648	25

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2020年2月21日開催の取締役会決議に基づき、市場買付けの方法により自己株式909,000株の取得を行っております。この結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が985,674千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が2,416,784千円となっております。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	グローバル W i F i 事業	情報通信 サービス事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	3,347,954	2,514,565	5,862,519	126,551	5,989,071	—	5,989,071
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	1,368	1,368	—	1,368	△1,368	—
計	3,347,954	2,515,933	5,863,887	126,551	5,990,439	△1,368	5,989,071
セグメント利益 又は損失(△)	326,431	517,326	843,757	△91,408	752,349	△264,252	488,097

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハイヤータイムシェアリングサービス事業、メディア事業、カタログ販売事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△264,252千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」セグメントに含まれるハイヤータイムシェアリングサービス事業において、収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなった資産(のれんを含む)について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において185,928千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」セグメントに含まれるハイヤータイムシェアリングサービス事業において、のれんの減損損失を計上したため、のれんの金額が減少しております。なお、当該事象によるのれんの減少額は当第1四半期連結累計期間において119,924千円であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	グローバル W i F i 事業	情報通信 サービス事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	1,515,904	2,357,544	3,873,448	65,419	3,938,868	—	3,938,868
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	264	264	1,090	1,355	△1,355	—
計	1,515,904	2,357,809	3,873,713	66,509	3,940,223	△1,355	3,938,868
セグメント利益 又は損失(△)	117,701	410,131	527,832	△17,698	510,134	△224,195	285,939

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メディア事業、カタログ販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△224,195千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。